

千葉県経済のトピックス

～県内中小企業数について～

令和2年6月1日

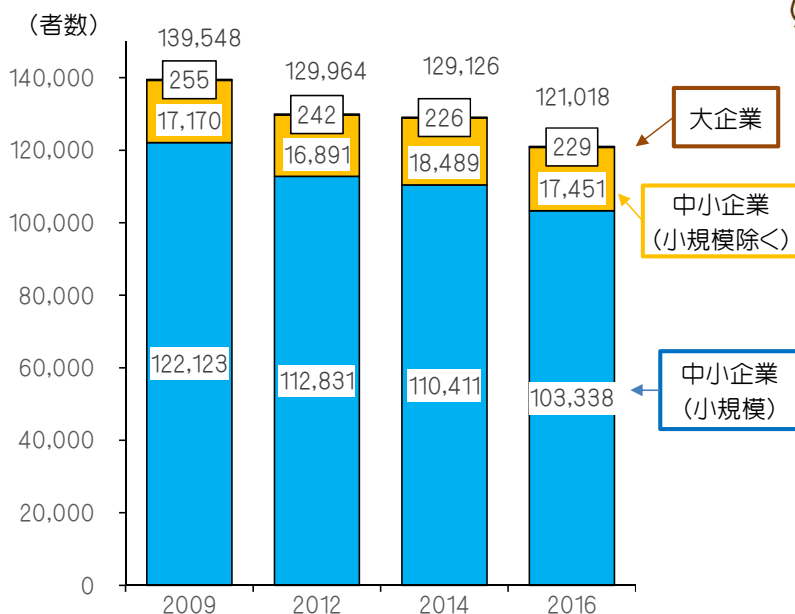
千葉県商工労働部経済政策課

千葉県の中小企業数は減少している

- 中小企業とは、会社及び個人事業者のこと。
- 県内の中小企業数(※)は、2016年に120,789者。中小企業数の減少が続いている。
- なお、中小企業1社あたりの従業員数は2009年:7.2人から2016年:8.0人に増加した。

※県内に「単独事業所」又は「本所(本社・本店)」を置く中小企業数。

千葉県の企業規模別事業者数の推移



中小企業とは

中小企業基本法の定義は下表のとおり。中小企業関連立法においては、政令により、より詳細な業種ごとに定義が定められている場合がある。

資本金または常時雇用者のいずれかの条件を満たす会社または個人事業者が対象となる。

なお、小規模企業者は、中小企業者に含まれる。

(1) 中小企業者

業種分類	定義	
	資本金	常時雇用者
製造業その他	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下

(2) 小規模企業者

業種分類	従業員数
製造業その他	20人以下
商業・サービス業	5人以下

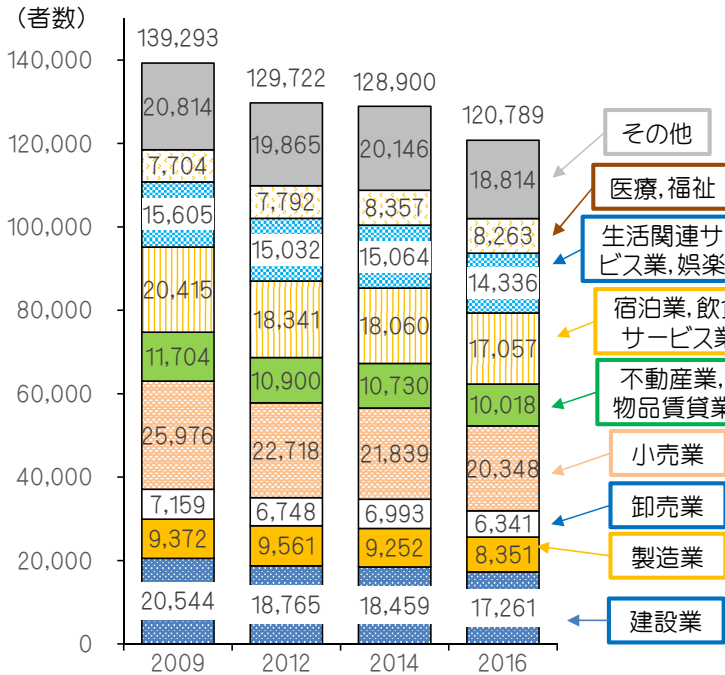
※2009年の値は、千葉県算出結果を使用。

(資料)総務省「経済センサス基礎調査」「経済センサス活動調査」を再編加工。

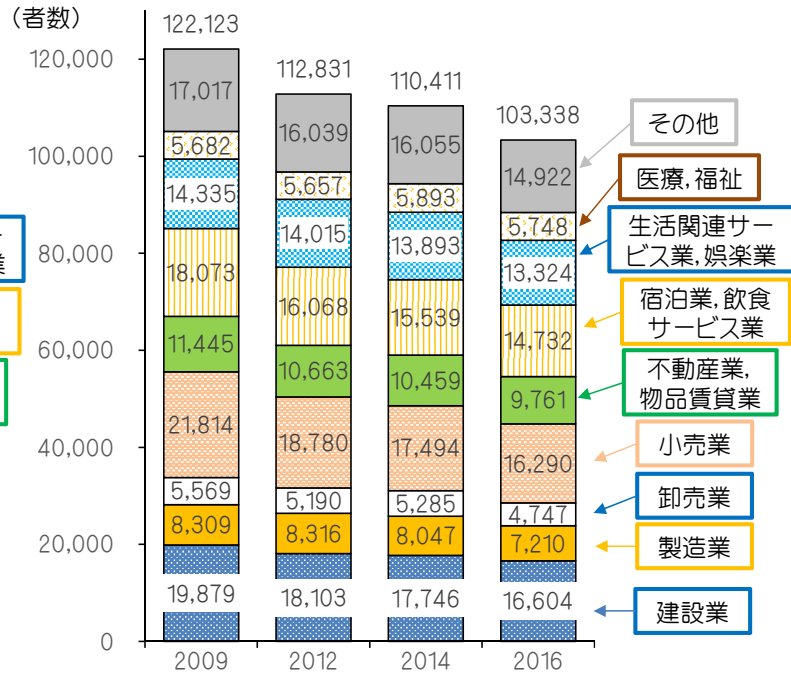
中小企業は小売業、建設業などが多い

□ 県内の中小企業について、2016年時点で、小売業が16.8%、建設業が14.3%、宿泊業・飲食サービス業が14.1%、生活関連サービス業・娯楽業が11.9%。

千葉県の中企業数の推移(産業別)



うち、小規模事業者数の推移(産業別)

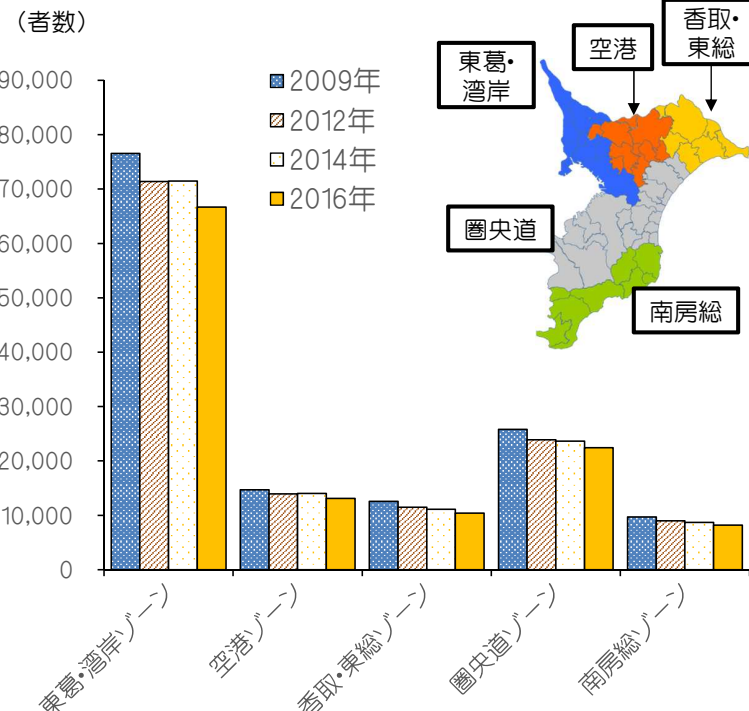


(資料)総務省「経済センサス基礎調査」「経済センサス活動調査」を再編加工。

全てのゾーンで中小企業数が減少

□ 2009年から2016年にかけて、全てのゾーンで中小企業数が減少している。

ゾーン別の中小企業数の推移



(資料)総務省「経済センサス基礎調査」「経済センサス活動調査」を再編加工。



ゾーンとは

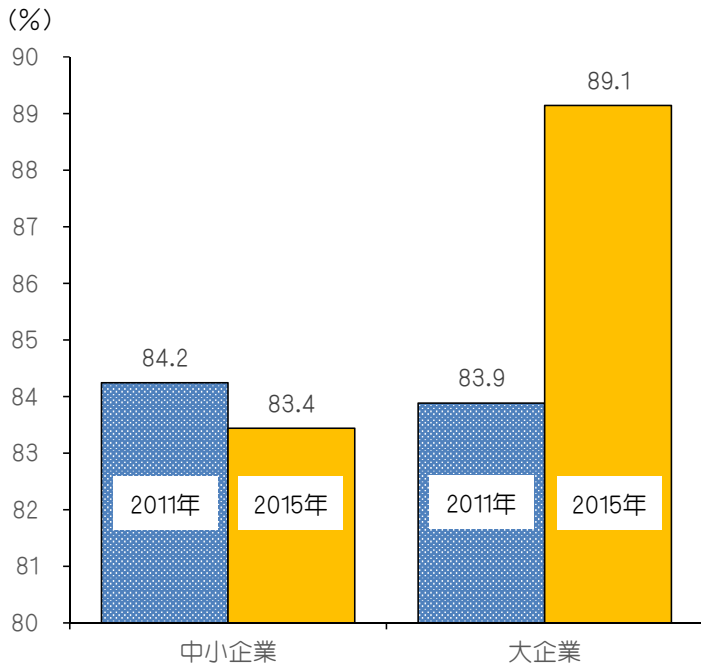
千葉県総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」で設定された「特性・可能性を踏まえた5つのゾーン」とする。ただし、総合計画では、ゾーンは市町村域と必ずしも一致せず、1つの市町村が複数のゾーン特性を併せ持つ場合がある重層的かつ弾力的なものとしていることから、総合計画における数値で示す場合に該当する市町村による分析とした。

ゾーン名	市町村
東葛・湾岸	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市
空港	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町、芝山町
香取・東総	銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町、東庄町
圏央道	木更津市、茂原市、東金市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
南房総	館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町、鋸南町

中小企業の黒字比率は約8割

- 県内企業の黒字比率は2015年に83.4%（うち大企業89.1%、中小企業83.4%）。
- 中小企業の黒字比率は2011年から2015年にかけて、わずかに低下した。

企業規模別の黒字比率



黒字比率とは

ここでは、黒字比率を、営業利益ベースで分析している。

営業利益 = 売上高 - 費用総額 (売上原価と販売費及び一般管理費の合計)

黒字企業比率 = 黒字企業数 ÷ (企業数 - 無回答企業数)

【用語解説】

売上高 : 商品等の販売額又は役務の提供によって実現した売上高、営業利益、完成工事高などをいう。有価証券、土地・建物、機械・器具などの有形固定資産など、財産を売却して得た収入は含めない。なお、「金融業・保険業」の企業等の場合は経常収益としている。

費用総額: 売上金額に対する費用。なお、「金融業・保険業」の企業等の場合は経常収益としている。

費用総額には、売上原価、給与総額、福利厚生費 (退職金を含む)、動産・不動産賃借料、減価償却費、租税公課 (法人税、住民税、事業税を除く)、外注費を含む。

売上原価: 売上高に対応する商品仕入原価、製造原価、完成工事原価、サービス事業の営業原価及び減価償却費 (売上原価に含まれるもの) の総称。

(資料) 総務省「経済センサス活動調査」を再編加工。